

平成23年度事業評価  
平成23年度事業実績一覧

(1) 市民文化の創造及び育成に関する事業【定款第4条第1項第1号】

事業概要	事業数	実施回数	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
				入場料収入	財団負担額	1人当事業費
市民文化の創造及び育成を図るため、演劇や音楽を通じ劇場自ら創造発信する「厚木シアタープロジェクト事業」に重点を置き、あつぎ舞台アカデミー公演「ドリーム・ドリーム・ドリーム～season1～」を実施したほか、「ネクストステップ第2回公演 人情噺 紺屋高尾」に加え、5期目を迎えた「リコーダー講座」は、受講生によるリコーダーアンサンブルの自主独立を図った。さらには、文部科学省受託事業「次世代を担う子どもの文化芸術体験事業」として、劇団扉座による演劇ワークショップを市内小学校4校で開催し、404人の児童が参加するなど、合わせて11事業を実施した。	11事業	115回	3,326人 (目標3,531人)	94%	12,588,940	35,821,909
				7,753,570	15,479,399	10,770

ア 創造事業

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
1	厚木シアタープロジェクト 第23回公演「アトムへの伝言」	2回	6月11日(土) 6月12日(日)	小ホール	332人	90%	0	4,630,824
					346人	2,771,100	1,859,724	6,830
2	あつぎ舞台アカデミー * キッズパフォーマンスコース * 運営スタッフ育成コース	オーディション1回 ワークショップ63回 講座11回 計75回	4月～3月	展示室	キッズ 33人	100%	4,024,000	1人当事業費は 下欄のとおり
				集会室	スタッフ育成11人	1,755,500	5,426,196	
				会議室	延べ 2,626人	No.3、No.4の 公演を含む。	キッズ33人	
					活動対象 44人			
3	あつぎ舞台アカデミー公演 「ドリーム・ドリーム・ドリーム ～season1～」	1回 1回(リハーサル)	9月4日(日)	小ホール	316人(完売)	100%	スタッフ育成11人	30,000
			9月3日(土)	小ホール	115人	100%		
						100%		
4	あつぎ舞台アカデミー 発表会	1回	3月25日(日)	展示室	180人	100%		

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
5	ネクストステップ第2回公演 「人情噺 紺屋高尾」	2回	11月26日(土)	小一ル	300人	83%	4,207,000	13,115,380
			11月27日(日)		321人	2,463,470	6,444,910	21,120
6	アウトリーチ事業 子どものための演劇公演「トラオ」	1回	1月20日(金)	厚木小学校	467人 1・2・6年生	100%	233,000	680,993
						0	447,993	1,458
7	アウトリーチ事業 出前ダンス体験教室	2回	1月25日(水)	依知南小学校	93人、6年生	100%	330,000	928,200
			2月17日(金)	上依知小学校	137人、4・5年生	0	598,200	4,036
8	アウトリーチ事業 出前演劇体験教室	1回	2月24日(金)	戸室小学校	93人、6年生	100%	119,000	338,100
						0	219,100	3,635
9	平成23年度 児童生徒のコミュニケーション 能力の育成に資する 芸術表現体験  「次代を担う子どもの 文化芸術体験事業」 (※文部科学省受託事業) 『演劇ワークショップ』	14回	10月6日(木)	戸室小学校	88人、5年生	100%	3,675,940	3,675,940
			12月19日(月)			計404人	0	2,648
			1月12日(木)					
			1月19日(木)					
			1月26日(木)					
			12月21日(水)	妻田小学校	105人、5年生			
			1月18日(水)					
			1月27日(金)					
			10月11日(火)	三田小学校	163人、5年生			
			10月14日(金)					
			10月18日(火)					
			10月13日(木)	鳶尾小学校	48人、5年生			
			12月15日(木)					
			1月23日(月)					

### イ 育成事業

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
10	リコーダー講座(第5期)	基礎コース6回	7月～3月	展示室	17人	100%	0	1,246,776
		アンサンブル8回		集会室	42人	763,500	483,276	21,132
11	リコーダー講座(第5期)発表会	1回	12月18日(日)	集会室	119人	No.10に含む。		

**(2) 市民文化の普及及び振興に関する事業【定款第4条第1項第2号】**

事業概要		事業数	実施回数	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費	
					入場料収入	財団負担額	1人当事業費	
総括	市民の運営によるコンサートを開催したほか、NHK公開番組を招致し、幅広い世代に市民文化の普及促進を図った。	2事業	2回	2,228人 (目標2,800人)	80%	0	609,301	
					480,000	129,301	273	
No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
1	厚木ジャズ祭2011 ～県央地区ビッグバンド集結～	1回	5月8日(月)	大ホール	1,010人	72%	0	409,295
						480,000	▲ 70,705	405
2	NHK横浜新放送局開館1周年記念 「みんなDEどーもくん！」 公開録画	1回	2月19日(日)	大ホール	1,218人	87%	0	200,006
						0	200,006	164

**(3) 芸術文化の鑑賞機会の提供に関する事業【定款第4条第1項第3号】**

事業概要		事業数	実施回数	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
					入場料収入	財団負担額	1人当事業費
総括	音楽、演劇、伝統芸能の公演や美術展を開催し、優れた芸術文化の鑑賞機会を子どもから大人まで広く市民に提供した。	20事業	43回	13,757人 (目標19,138人)	72%	2,729,000	22,440,916
					12,828,490	6,883,426	1,631
					上記集計は、エ 共催事業を除く。		

**ア 音楽、舞台公演**

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
1	こどもちゃれんじコンサート しまじろう ふしぎなもりのものがたり	2回	5月29日(日)	大ホール		88%	0	3,135,781
			①12:30		1,268人	3,868,800	▲ 733,019	1,272
			②15:00		1,198人			
2	Sコンサート ※助成：地域創造	1回	8月28日(日)	小ホール	218人	58%	1,200,000	1,577,023
						115,500	261,523	7,234

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
3	第13回あつぎ寄席・春夏秋冬 林家たい平わくわく落語会	1回	7月23日(土)	小ホール	244人	65%	0	3,882,100
						1,579,950	2,302,150	7,642
4	第14回あつぎ寄席・春夏秋冬 精選・落語鑑賞会	1回	10月2日(日)	小ホール	154人	41%	No.3、4、5の三公演 全体で集計	
5	第15回あつぎ寄席・春夏秋冬 三遊亭円窓・窓輝 新春ネタ出し親子会	1回	1月24日(土)	小ホール	110人	29%		
6	東京スカパラダイスオーケストラ “Discover Japan Tour”	1回	10月21日(金)	大ホール	944人	全体 67%	0	6,747,372
						5,158,600	1,588,772	7,148
7	小山実稚恵 ～華麗なるショパンの世界～ 第2回ショパンの名曲 ～室内楽版コンチェルト～	1回	11月19日(土)	大ホール	372人	27%	0	2,926,522
						1,537,230	1,389,292	7,867
8	EnTRANS ライブをたのしもうワークショップ	1回	3月3日(土)	小ホール	16人	100%		
9	EnTRANSスーパーコンサート withムツシュかまやつ ※助成:芸術文化振興基金	1回	3月4日(日)	小ホール	164人	44%	500,000	2,372,548
						568,410	1,304,138	13,181
						No.8、9の合計		

## イ 美術展

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
10	第47回神奈川県美術展 厚木巡回展	1回	10月5日(水) ～16日(日) 【10日間】	展示室	401人	100%	0	770,570
						0	770,570	1,922

ウ アウトリーチ事業

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
11	ハーモニカコンサート①② 八木のぶおブルースハーブコンサート 演奏:八木のぶお、ウエキ弦太	2回	11月8日(火)	依知南小学校	171人 5・6年生	100%	1,029,000	1,029,000
						0	0	747
12	リコーダーアンサンブルコンサート 演奏: リコーダーアンサンブル ステラ	2回	11月8日(火)	厚木第二小学校	141人 3年	計 1,378人		
		2回	2月10日(金)		148人 4年			
		2回	12月19日(月)	三田小学校	146人 4年			
		3回	1月17日(火)	飯山小学校	87人 3・4年			
			1月17日(火)	小鮎小学校	158人 3・4年			
			1月18日(水)	依知南小学校	89人 3年			
13	上原正敏テノールコンサート ピアノ:大須賀恵里 厚木市文化会館 応援アーティスト	4回	11月24日(木)	上依知小学校	112人 1・2年			
			12月5日(月)	飯山小学校	83人 1・2年			
			12月13日(火)	厚木小学校	173人 1年			
			12月15日(木)	荻野中学校	70人選抜合唱			

エ 共催事業

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
14	かながわ伝統芸能ワークショップ vol.14 「義太夫三味線にトライ！」	2回	8月5日(金) 8月6日(土)	和室	11人	100%		
15	今井ゆうぞう× はいだしょうこ ファンタジー・コンサート	2回	9月10日(土)	大ホール	①1,302人	93%		
					②1,288人			

No.	事業名称	実施回数	実施期日	会場	入場者等計 (人)	参加率(%)	助成金等	総事業費
						入場料収入	財団負担額	1人当事業費
16	クレイジーケンバンド NAKAYOSHI 2011	1回	9月30日(金)	大ホール	1,029人	74%		
平成23年度 文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 神奈川県文化財活性化プラン 神奈フィル×和楽器スクランブル/ルーレット@厚木								
17	《ワークショップ》 三橋貴風尺八ワークショップ	4回	1月14日(土)	ヤングコミュニ ティセンター	31人	100%		
			1月21日(土)					
			1月28日(土)					
			1月29日(日)					
18	《ワークショップ》 里神楽の体験	4回	12月18日(日)	ヤングコミュニ ティセンター	21人	100%		
			1月15日(日)					
			1月22日(日)					
			1月29日(日)					
19	《コンサート》 神奈フィル×和楽器 スクランブル/ルーレット@厚木	2回	2月10日(金)	大ホール	912人	68%		
			2月11日(土)		998人			
20	週末よしもと 「お笑い春いちばんin厚木」	2回	3月24日(日)	大ホール	①840人	61%		
					②858人			

#### (4) 文化情報の収集及び提供に関する事業【定款第4条第1項第4号】

厚木市文化会館で開催される公演情報を広く市民に提供するため、厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」を4回発行し、市広報紙に折り込み市内全世帯、友の会会員へ配布。また、「厚木市文化会館スケジュール」を毎月発行し、公共施設等を通して市民に配布するとともに、インターネットを利用した情報提供として、(公財)厚木市文化振興財団ホームページに各種公演情報や施設利用案内等を掲載した。

- \* 厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」の発行  
発行回数 年4回  
(6月1日、9月1日、12月1日、3月1日)  
発行部数 タブloid版・4ページ 86,000部
- \* 厚木市文化会館スケジュール  
発行回数 年12回(毎月1回)  
発行部数 A4版 2ページ 1,500部
- \* ホームページ情報掲載  
「ぶんか情報館」発行時及び随時更新
- \* 事業費 4,757,508円

事業収入	助成金等	総事業費
		財団負担額
200,000	0	4,757,508
		4,557,508

#### (5) 芸術文化振興に関する調査研究に関する事業【定款第4条第1項第5号】

事業計画の立案に資するため、公演実施ごとにアンケートを実施した結果、希望するジャンルは、全体的に様々なジャンルに分かれており、中でも希望が多かったのはミュージカルであった。

また平成23年度から新たに日本アートマネジメント学会(関東部会)、日本音楽芸術マネジメント学会に入会し、セミナーなどに参加するなど、文化振興に関する情報の積極的な収集、研究に努めた。

- \* 事業費 15,660円

#### (6) 芸術文化振興のための国際交流に関する事業【定款第4条第1項第6号】

絵画を通じて明日の世界を担う児童の夢と創造力を育み、お互いの生活や多様な文化を理解するため、世界各地からこどもたちの絵画を募集して、隔年で実施しているカナガワビエンナーレ国際児童画展を厚木では初めて開催した。

- \* 事業名 第16回カナガワビエンナーレ 国際児童画展 厚木巡回展
- \* 開催期間 平成23年9月23日(金)~29日(木)【5日間】
- \* 会場 厚木市文化会館展示室
- \* 入場者 延べ118人
- \* 事業費 76,920円

**(7) 文化施設の管理運営に関する事業【定款第4条第1項第7号】**

厚木市文化会館の指定管理者(第2期)として、利用者が各施設を最良の状態を利用できるよう施設の適正な管理運営に努めた。

\* 事業費 184,581,261円

\* 指定管理者指定期間

第2期:平成21年4月1日～平成24年3月31日(3年間)

\* 施設管理運営事業費(指定管理料) 144,407,000円

\* 利用状況

区 分	平成23年度				平成22年度				比 較			
	利用可 能日数 A	利用 日数 B	利用率 (%) C=B/A	利用者 数(人) D	利用可 能日数 E	利用 日数 F	利用率 (%) G=F/E	利用者 数(人) H	利用可 能日数 A-E	利用 日数 B-F	利用率 (%) C-G	利用者 数(人) D-H
大ホール	283	171	60.4	129,617	268	170	63.4	130,694	15	1	▲ 3	▲ 1,077
小ホール	284	229	80.6	55,639	271	225	83.0	55,285	13	4	▲ 2	354
集会室	283	227	80.2	18,166	268	242	90.3	23,361	15	▲ 15	▲ 10	▲ 5,195
展示室	283	163	57.6	17,978	268	140	52.2	22,240	15	23	5	▲ 4,262
和室 さつき	283	109	38.5	2,574	268	152	56.7	3,004	15	▲ 43	▲ 18	▲ 430
和室 もみじ・ゆり	283	100	35.3	3,753	268	126	47.0	4,515	15	▲ 26	▲ 12	▲ 762
会議室 301	284	165	58.1	1,650	277	180	65.0	1,971	7	▲ 15	▲ 7	▲ 321
会議室 302	284	202	71.1	4,284	277	219	79.1	5,517	7	▲ 17	▲ 8	▲ 1,233
会議室303(練習室)	284	144	50.7	1,637	278	110	39.6	1,498	6	34	11	139
会議室 304	284	161	56.7	2,949	277	196	70.8	4,509	7	▲ 35	▲ 14	▲ 1,560
合 計	2,835	1,671	58.9	238,247	2,720	1,760	64.7	252,594	115	▲ 89	▲ 6	▲ 14,347



平成23年度事業評価

《 2次評価【理事会による評価】 》

【23年度事業の評価】	A 大変良い(大いにある)	B 良い(ある)		
	C ふつう(少しある)	D 良くない(ない)		
【今後の方向性】	a 拡大	b 継続	c 一部見直し	d 見直し

(1) 市民文化の創造及び育成に関する事業

23年度事業 の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	C	有効性	A
評 価 説 明	<p>演劇や音楽を通じ劇場自ら創造発信する「厚木シアタープロジェクト事業」に重点を置き、あつぎ舞台アカデミー公演「ドリーム・ドリーム・ドリーム～season1～」を実施したほか、「ネクストステップ第2回公演 人情噺 紺屋高尾」に加え、5期目を迎えた「リコーダー講座」は、受講生によるリコーダーアンサンブルの自主独立が図られた。</p> <p>さらには、文部科学省受託事業「次世代を担う子どもの文化芸術体験事業」として、劇団扉座による演劇ワークショップを市内小学校4校で開催し、404人の児童が参加するなど、合わせて11事業を実施した。</p> <p>本事業については、財団自らが発信する事業として、充実した内容が実施できたものと認められ、特に、厚木舞台アカデミーでは、子どもたち自らが参画するという事業目的を中心として、所期の目的を十分達成できたものと判断できるが、経費的には、相当な額の負担となっていることも確かである。</p>							
今後の 方向性	b	<p>あつぎ舞台アカデミーを主軸に現行事業の推進を図りながらも、今後の事業の在り方、展開等について研究を進める必要があると考える。</p> <p>事業検討に当たっては、参加者の活動を目的とするのか、観客の増加を目的とするのか、そのスタンスによって事業内容も違ってくると思われるので、方向性をより一層明確にする必要があると考える。</p>						

(2) 市民文化の普及及び振興に関する事業

23年度事業 の評価	必要性	B	妥当性	B	効率性	A	有効性	B
評 価 説 明	<p>市民の運営によるあつぎジャズ祭を開催したほか、NHK公開番組を招致するなど、幅広い世代に事業展開を進めた。</p> <p>実施事業2事業ともに盛況に開催できたが、特に、あつぎジャズ祭については、市民による運営や1000人を超す入場者数を数えるなど市民に定着してきているように感じられる。</p>							
今後の 方向性	b	<p>現行事業の充実と、厚木ジャズ祭の運営形態に倣い、事業メニューの充実について研究を進める必要があると考える。</p>						

### (3) 芸術文化の鑑賞機会の提供に関する事業

23年度事業の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評 価 説 明	<p>音楽、演劇、伝統芸能の公演や美術展等を開催し、優れた芸術文化の鑑賞機会を子どもから大人まで広く市民に提供した。</p> <p>開催事業のうち、Sコンサートや館外でのアウトリーチ事業など、財団の企画による事業展開を含めて、幅広い事業を実施することができたものとする。</p> <p>しかしながら、いくつかの事業において参加率の低い状況が見られるため、公演内容も含めて検証する必要があると考える。また、「神奈川県美術展厚木巡回展」について、入場者数も会期中で401人であり、また、巡回展の開催を他の会館は撤退しており、県民ホールで開催されていることから、今後の在り方を検討する必要があると考える。</p>							
今後の方向性	b	<p>市民ニーズの把握に努め、質の高い舞台公演、展示会等の開催や誘致を目指す必要があると考える。</p> <p>また、芸術文化の鑑賞機会の提供という観点から、毎年実施するというのも大切であるが、厳しい財政状況の中では、幅広いジャンルとローテーション的な視点からの事業開催の検討も必要と考える。</p>						

### (4) 文化情報の収集及び提供に関する事業

23年度事業の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評 価 説 明	<p>厚木市文化会館で開催される公演情報を広く市民に提供するため、厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」を4回発行し、市広報紙に折り込み市内全世帯、友の会会員へ配布。また、「厚木市文化会館スケジュール」を毎月発行し、公共施設等を通して市民に配布するとともに、インターネットを利用した情報提供として、(公財)厚木市文化振興財団ホームページに各種公演情報や施設利用案内等を掲載した。</p> <p>参加者アンケートによると、催物の情報入手は、「ぶんか情報館」が約53%を示している。</p> <p>今後も内容の充実に努めるとともに、事業の周知から考えると年4回の発行であるため、発行回数の増加や事業展開に合わせた他の媒体のより一層の活用も検討する必要があると考える。</p>							
今後の方向性	a	<p>ぶんか情報館は財団最大の広報媒体として位置付けられることから、各種催物の周知に努め、参加者増加により一層寄与するよう内容の充実に努めるとともに、発行回数の増加や他の広告媒体のより一層の活用を検討する必要があると考える。</p>						

### (5) 文化振興に関する調査研究に関する事業

23年度事業の評価	必要性	B	妥当性	C	効率性	A	有効性	B
評 価 説 明	<p>事業計画の立案に資するため、自主事業開催の際に、参加者アンケートを実施した結果、希望するジャンルは、全体的に様々なジャンルに分かれており、中でも希望が多かったのはミュージカルであった。</p> <p>しかしながら、各公演ごとの参加者アンケートのため、希望するジャンルへの関心の高さに偏りも見られることも確かである。</p> <p>今後、厚木市と協議を進められ、機会をとらえ大規模な意識調査の実施も検討する必要があると考える。</p>							
今後の方向性	b	<p>現在、厚木市が進めている「(仮称)厚木市文化芸術振興条例」の方向性を見据えながら、文化振興施策について調査研究を進める必要があると考える。</p>						

(6) 市民の国際文化交流の促進に関する事業

23年度事業 の評価	必要性	B	妥当性	B	効率性	C	有効性	B
評 価 説 明	<p>絵画を通じて明日の世界を担う児童の夢と創造力を育み、お互いの生活や多様な文化を理解するため、世界各地から子どもたちの絵画を募集して、隔年で実施しているカナガワビエンナーレ国際児童画展を厚木では初めて開催した。 初めての開催のためか5日間の開催で入場者が延べ118人と少ない状況であり、今後、同様の事業を実施するに当たっては、より一層の市民への周知、特に小・中学生への周知が必要と考える。</p>							
今後の 方向性	C	<p>事業そのものは非常に有意義であるので機会があれば継続する努力をするとともに、実施する際には、事前の周知を広く展開する必要がある。 また、他団体等との共同開催などについても研究を進める必要があると考える。</p>						

(7) 文化施設の管理運営の受託に関する事業

23年度事業 の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評 価 説 明	<p>厚木市文化会館の指定管理者(第2期)として、利用者が各施設を最良の状態で利用できるよう施設の適正な管理運営に努めた。 施設の老朽化に伴う修繕等の経費の増加が見込まれる中で、安全な施設管理と利用者のサービス向上に努めた。 また、財政状況も厳しさが増すとともに、利用者の減少、利用率の低下もみられ、利用料金の安定的な確保に向けて、より一層利用しやすい施設運営を模索し、改善に向けて取り組む必要があると考える。</p>							
今後の 方向性	b	<p>安心安全な施設管理を基本に、利用率の向上に向けて、利用しやすい環境整備について研究を進める必要があると考える。</p>						